

総合型選抜入試の出願から選考までの流れ

全学部・学科共通

オープンキャンパス(OC)に積極的に参加し、情報収集【任意】

オープンキャンパスで行われる学部・学科紹介や各種イベントに参加して情報を集めましょう!
また、6月以降のオープンキャンパスでは「学修計画書の書き方/面接対策講座」を開催します。
自身が志望する学部・学科からの情報収集と早期の対策が合格を勝ち取るポイントです!

応募シート(願書請求用紙)の提出(郵送)【必須】

下記いずれかの方法で応募シートを取得してください。

応募シート取得方法

- 7月以降のOC(学部ブース)で配布
- 総合型選抜入試Webサイトからダウンロード(Webサイト公開は7月1日予定)

【応募シート提出締切】

郵送:9月25日(金)〈締切日消印有効〉
持参:9月25日(金)17時

〔応募シート(願書請求用紙)提出者に対して入学願書を本学より郵送〕

※8月上旬から随時発送(予定)

課題探究(プレゼン)型

【事前準備】

出願書類(願書・学修計画書)の作成
プレゼン資料の準備

【出願】

願書・学修計画書等の提出(郵送)

【試験日(選考)】

プレゼン試験
個人面接(口頭試問含む)

課題探究(レポート)型

【事前準備】

出願書類(願書・学修計画書・課題レポート)の作成

【出願】

願書・学修計画書・課題レポート等の提出(郵送)

【試験日(選考)】

個人面接(口頭試問含む)

Topics

- ・願書を入手するには、応募シート(願書請求用紙)の提出が必須となります。
- ・受験生の力を最大限活かせるように、自身の強みにあわせて選べる2種類の選考方法があります。
- 「課題探究(プレゼン)型」▶ プレゼンを通して積極性や表現力などをアピールしたい方にお勧めです。
- 「課題探究(レポート)型」▶ 課題レポートを通して主体性や文章力などをアピールしたい方にお勧めです。

総合型選抜入試

選抜方針

総合型選抜入試では、学力試験だけでは見出すことのできない能力・個性・適性・意欲・目的意識・将来性等を調査書等の提出書類と面接・プレゼンテーション等によって多面的・総合的に評価・選抜する。総合型選抜入試は、志望する学部・学科の求める人物像との適合性、自らを成長させ続ける意欲、高校生活で得た経験や経験に基づいた将来の夢やビジョン等について大学が一人一人の学生と十分な時間をかけて対話し、評価・選抜する。

募集学部・学科		募集人員
国際学部	国際コミュニケーション学科	25名
国際学部	国際観光学科	25名
経済学部	経済学科	35名
経営学部	経営学科	35名
総合情報学部	総合情報学科	20名

※「課題探究(プレゼン)型、課題探究(レポート)型」は一括して募集します。

出願資格

次の(1)～(5)までの条件をすべて満たす者。なお、出願資格(5)は該当者のみとなります。

- (1) 本学の教育目的を理解し、志望学部・学科で学びたいと強く希望する専願の者
- (2) 各学部・学科が定める「求める人物像」を十分に理解した者
- (3) 現役生、既卒生および大学入学資格を有する者
- (4) 総合型選抜入試の応募シートを提出した者
- (5) 外国籍を有し、外国の教育機関を卒業した者は、令和8(2026)年度実施の日本留学試験(6月)の日本語(「読解」「聴解・聴読解」)400点満点で240点以上取得している者

※この入試は専願者の入試であり、合格した場合は、必ず入学手続きを行い入学してください。

※この入試は他大学を含め本学の他の専願制入試と同時に申し込むことはできません。

出願期間	試験日	合否発表日	入学手続締切日
令和8(2026)年 9月14日(月)～10月6日(火) 締切日消印有効 【持参受付】 10月7日(水)17:00まで	令和8(2026)年 10月17日(土)	令和8(2026)年 11月1日(日)	【1次:入学金】 令和9(2027)年1月18日(月) 【2次:学費等・インターネット入学手続】 令和9(2027)年2月5日(金)

■試験内容

課題探究(プレゼン)型:プレゼン試験・個人面接(口頭試問含む)
課題探究(レポート)型:個人面接(口頭試問含む)

■選考方法

課題探究(プレゼン)型:提出書類(学修計画書等)・プレゼン試験・個人面接(口頭試問含む)によって総合的に選考
課題探究(レポート)型:提出書類(課題レポート・学修計画書等)・個人面接(口頭試問含む)によって総合的に選考
※詳しくは各学部・学科ページ(p.11～20)をご覧ください。

■試験地

大阪(本学)

■入学検定料

10,000円

Point

合格された方を対象に指定資格取得者奨学金制度を設けています。
入学までに本学指定の資格を取得・申請された方には、奨学金として100,000円を給付します。
詳しくはp.08を参照してください。

総合型選抜入試の目的と特徴

国際コミュニケーション学科の総合型選抜入試は本学科で学ぶはっきりとした目的意識、明確な将来設計を持ち、自らを成長させ続ける意欲を示す経験と実績を持った受験生を求めています。

主な選考基準は以下の3点です。

- 1 志望理由が国際コミュニケーション学科の「求める人物像」に合致しているか。
- 2 大学で学ぶ意味を自覚し、具体的な目的と活動意欲を持っているか。
- 3 高校時代に積極的に取り組んだ努力や経験を踏まえた具体的な将来設計があるか。

※受験生は、できる限りオープンキャンパスで開催される学科イベントに参加し、総合型選抜入試の目的や特徴を良く理解してください。また、阪南大学および国際コミュニケーション学科に関するWebサイトの内容も確認することをお勧めします。不明な点は、オープンキャンパスの「教員との個別相談」で気軽に相談してください。

教育目的と求める人物像

■教育目的

国際コミュニケーション学科はグローバル社会で活躍する人材を育成する学科です。国際社会で活躍するためには、優れた語学力と異文化理解が必要です。コミュニケーションの手段である言語(特に、英語・韓国語・中国語)を実際に使用する力を養成すると同時に、異なる価値観・世界観を持つ人・社会・文化に対する理解を深めるために、マスメディア、心理学、国際関係、社会学、歴史学など多様な分野の知識を修得します。実践的な言語運用能力と優れた異文化対応能力を同時に養い、世界中で活躍するために必須な「国際コミュニケーション力」を高めます。

■求める人物像

国際コミュニケーション学科の求める人物像は下記のとおりです。

- 1 探究心を持ち、他者と共に学び成長できる人
- 2 グローバル社会で通用する語学運用能力を身につけたい人
- 3 在学中に留学をして、自分の可能性を広げる意欲のある人
- 4 世界の国や地域の民族・政治・社会・歴史・文化・宗教などについて学びたい人
- 5 心理学・マスコミュニケーション・メディア・異文化理解について学びたい人
- 6 国際社会に通用する教養・コミュニケーション能力を身につけ、それを活かす職業に就きたい人
- 7 将来の目標を設定して、継続的にキャリアアップをめざせる人
- 8 日本および世界の発展に貢献したいという意志がある人

具体的な例としては、下記のような受験生を積極的に募集します。

- ①学内外のボランティア活動、クラブ、組織などで優れた活動の実績があり、そこで培ったコミュニケーション能力を、大学での学びを通してさらに向上させたいと考えている。
- ②留学、語学研修、国際交流事業などに参加した経験があり、大学でさらに実践的に学んでいきたいと考えている。
- ③「NHK杯全国高校放送コンテスト」、「地方の時代映像祭」、「動画クリエイティブ甲子園」、「宣伝会議賞」などの大会への参加経験がある。
- ④現代の国際情勢や社会問題に強い関心があり、大学で課題解決に向けた取り組みや、情報発信を積極的に行う意欲がある。

選考方法および課題、選考における評価基準

課題探究(プレゼン)型

選考方法

- ①学修計画書
出願時に提出する事前提出課題です。
- ②プレゼン
学科で指定されたテーマについて、試験当日に5分~7分程度のプレゼンを実施します。プレゼンの方法は試験室内で実施可能な範囲であれば自由です。個人の機器を持ち込む場合は、試験当日に別室にて接続テストを行うため、試験中に監督者による機器接続等の補助は原則としてできません。そのため、機器の不具合等に備え、プレゼン資料を印刷したものを必ず3部持参してください。機器の不具合等により、機器の利用から紙資料によるプレゼンへ方法が変更された場合でも、評価に影響が出ることはありません。なお、機器を利用されない方で配付資料がある場合は、資料を3部持参してください。
- ③個人面接
試験当日、「学修計画書」および「プレゼン」をもとに質疑応答を行います。
※試験時間は「プレゼン」と「個人面接」をあわせて20分程度です。

プレゼンテーマ

国際学部国際コミュニケーション学科では、外国語(英語・韓国語・中国語)、国際文化、国際関係、メディア、心理学という分野を中心に学びを深めていきます。このうち、あなたが特に関心を寄せる分野を1つ以上選択し、下記の項目について具体例を交えてプレゼンを行ってください。

- ①その分野を選択した理由
- ②その分野の中で特にどのようなことを学びたいか
- ③その分野を学ぶことであなたがどのように成長できるか

評価基準

項目	配点	備考
事前提出書類(学修計画書・調査書)	20%	志望動機、学修意欲、高等学校等での努力や姿勢など
プレゼン	40%	論理性、創造性、完成度など
個人面接	40%	アドミッション・ポリシー理解度、意欲、計画性、論理性、表現力など

課題探究(レポート)型

選考方法

- ①学修計画書
出願時に提出する事前提出課題です。
- ②課題レポート
出願時に提出する事前提出課題です。学科で指定されたテーマについて、課題レポートを作成してください。
- ③個人面接
試験当日、「学修計画書」および「課題レポート」をもとに質疑応答を行います。
※試験時間は15分程度です。

課題レポートテーマ

国際学部国際コミュニケーション学科では、外国語(英語・韓国語・中国語)、国際文化、国際関係、メディア、心理学という分野を中心に学びを深めていきます。このうち、あなたが特に関心を寄せる分野を1つ以上選択し、下記の項目について1,500字程度で具体的に記述してください。

- ①その分野を選択した理由
- ②その分野の中で特にどのようなことを学びたいか
- ③その分野を学ぶことであなたがどのように成長できるか

評価基準

項目	配点	備考
事前提出書類(学修計画書・調査書)	20%	志望動機、学修意欲、高等学校等での努力や姿勢など
課題レポート	40%	論理性、創造性、完成度など
個人面接	40%	アドミッション・ポリシー理解度、意欲、計画性、論理性、表現力など

総合型選抜入試の目的と特徴

国際観光学科の総合型選抜入試は、観光産業で将来活躍したい人、観光まちづくりの実践をとおして地域の活性化に貢献したい人、本学科を牽引する優秀な人材を積極的に発掘していくことを目的とした入試制度です。

主な選考基準は以下の3点です。

- 1 志望理由が国際観光学科の「求める人物像」に合致しているか。
- 2 大学で学ぶ意味を自覚し、入学後の具体的な目的と活動意欲を持っているか。
- 3 入学後の学修生活全般において、学科学生を中心・模範となる資質・やる気を持っているか。

※総合型選抜入試では、受験生ができるだけ多くの学科教員とコミュニケーションの機会を持ち、本入試の目的や特徴への理解を深めることが重要と考えています。そのため、オープンキャンパスに参加し、開催される学科イベントや「教員との個別相談」等を通じて教員とのコミュニケーションを深めるとともに、阪南大学および国際観光学科に関するWebサイトの内容もあわせて確認することをお薦めします。

教育目的と求める人物像

■教育目的

国際観光学科は、世界の人々と交流するためのコミュニケーション力を培い、幅広い教養を身につけ、文化の多様性を理解することにより、国際社会で活躍する人材を輩出することを目的としています。国際観光学科の学びの特徴は、観光の現場をフィールドに、社会科学分野（経済学・経営学・地理学・歴史学・社会学・文化人類学など）の知識を複合的に修得できることです。国際社会が求めている基礎的能力の獲得を目指します。

■求める人物像

国際観光学科の求める人物像は下記のとおりです。

- 1 異文化や自文化を理解し、必要なコミュニケーション力を培い、国際社会や地域社会で活躍したい人
- 2 地域社会との関わりのなかで、魅力ある地域づくりに貢献したい人
- 3 国際社会や地域社会における様々な問題に関心を持ち、身につけた知識をこれらの解決に役立てたい人
- 4 観光に関わる企業に関心を持ち、観光ビジネスの知識を身につけ、実社会においてその力を発揮したい人

選考方法および課題、選考における評価基準

課題探究(プレゼン)型

選考方法

- ①学修計画書
出願時に提出する事前提出課題です。
- ②プレゼン
学科で指定されたテーマについて、試験当日に5分～7分程度のプレゼンを実施します。
プレゼンの方法は試験室内で実施可能な範囲であれば自由です。個人の機器を持ち込む場合は、試験当日に別室にて接続テストを行うため、試験中に監督者による機器接続等の補助は原則としてできません。そのため、機器の不具合等に備え、プレゼン資料を印刷したものを必ず3部持参してください。機器の不具合等により、機器の利用から紙資料によるプレゼンへ方法が変更された場合でも、評価に影響が出ることはありません。なお、機器を利用されない方で配付資料がある場合は、資料を3部持参してください。
- ③個人面接
試験当日、「学修計画書」および「プレゼン」をもとに質疑応答を行います。
※試験時間は「プレゼン」と「個人面接」をあわせて20分程度です。

プレゼンテーマ

以下の課題(①,②)のいずれかを選択し、プレゼンを行ってください。

- ①あなたが住む地域(まち)の更なる活性化にむけて、「観光地域(まち)づくり」の構想案を以下の【キーワード】を用いて、提案してください。なお、【キーワード】を全て含める必要はありません。
【キーワード】 ■観光産業(宿泊事業者・土産物・観光施設など) ■観光ビジネス(体験型旅行商品など) ■食文化 ■文化財 ■訪日外国人(インバウンド) ■観光政策
- ②あなたが高校時代の友人と行きたいと考える「卒業旅行プラン」(国内旅行・海外旅行ともに可)の企画案を考え、提案してください。なお、企画内容には「プラン名」「目的地」「交通手段」「プラン内容」を必ず入れて発表してください。その他の内容を入れても構いません。

評価基準

項目	配点	備考
事前提出書類(学修計画書・調査書)	30%	志望動機、学修意欲、高等学校等での努力や姿勢など
プレゼン	30%	論理性、創造性、完成度など
個人面接	40%	アドミッション・ポリシー理解度、意欲、計画性、論理性、表現力など

課題探究(レポート)型

選考方法

- ①学修計画書
出願時に提出する事前提出課題です。
- ②課題レポート
出願時に提出する事前提出課題です。学科で指定されたテーマについて、課題レポートを作成してください。
- ③個人面接
試験当日、「学修計画書」および「課題レポート」をもとに質疑応答を行います。
※試験時間は15分程度です。

課題レポートテーマ

以下の課題(①～③)のいずれかを選択し、1,500字程度で記述してください。

- ①あなたが関心を持つ「世界遺産」を1つ取り上げて紹介してください。また、その世界遺産が抱えている課題や問題点を考え、記述してください。【観光文化領域のテーマ】
- ②あなたが住む地域(まち)の魅力を紹介してください。また、地域(まち)の魅力をさらに高めるための改善案や将来構想を考え、記述してください。【観光計画領域のテーマ】
- ③あなたが考える日本の魅力を外国人(設定：同世代の高校生)に紹介してください。また、訪日する外国人観光者(設定：同世代の高校生)を増やすための工夫や仕組みを考え、記述してください。【観光事業(マーケティング)領域のテーマ】

評価基準

項目	配点	備考
事前提出書類(学修計画書・調査書)	30%	志望動機、学修意欲、高等学校等での努力や姿勢など
課題レポート	30%	論理性、創造性、完成度など
個人面接	40%	アドミッション・ポリシー理解度、意欲、計画性、論理性、表現力など

総合型選抜入試の目的と特徴

経済学部の総合型選抜入試は、経済学部のアドミッション・ポリシー(p.01参照)に真に適合する学生を受け入れるために行われる入試です。経済学部の授業を理解する上で重要な、国語、数学、地理歴史・公民分野を中心とする基礎学力、粘り強い論理的思考力、そして、経済・社会問題への関心や地域社会・国際社会に貢献する志を重視する試験です。同時に、主体的に学ぶ姿勢や将来のキャリアに対する意欲なども問われます。出願時に、課題探究(プレゼン)型、課題探究(レポート)型の2つから選択できます。

教育目的と求める人物像

■教育目的

経済学部は、グローバル化や情報化などによって、ますます複雑化している実社会において、幅広い視野と鋭い分析・判断能力を持ったビジネスパーソンとして活躍できる人材を育成することを目的としています。

■求める人物像

経済学部が求める基礎学力や論理的思考力を高校時代に身につけている下記のような人物を求めます。

- 1 経済学と法律学を両方勉強して、公務員や実践力のあるビジネスパーソンになりたい人
- 2 フィールドワークで地域経済の現場を知ったうえで、その再生や発展に役立つビジネス、金融、政策のあり方を学びたい人
- 3 日本を飛び出して、海外でも活躍できるような、自立した、実力のあるビジネスパーソンになりたい人
- 4 経済学、統計学の知識を身につけて、ビジネス・経済データ分析ができるようになりたい人

選考方法および課題、選考における評価基準

課題探究(プレゼン)型

選考方法

- ①プレゼンと質疑応答
 - ・プレゼンを行う時間：7分以内(5分未満で終了した場合は減点対象)
 - ・発表方法：プレゼン用ソフトウェアまたはフリップボード(いずれかを選択)
 - ※試験監督者用の資料として、プレゼンで提示する資料を必ず3部持参し、試験当日に試験監督者に提出してください。
 - ※個人の機器を持ち込む場合は、試験当日に別室にて接続テストを行うため、試験中に監督者による機器接続等の補助は原則としてできません。機器の不具合等により、機器の利用から紙資料によるプレゼンへ方法が変更された場合でも、評価に影響が出ることはありません。
 - ※資料を読み上げるのではなく、自分の言葉で説明できるよう準備してきてください。発表終了後に質疑応答を行います。
 - ※準備方法や注意事項については、阪南大学入試サイト「総合型選抜入試 Web サイト(経済学部ページ)」を必ず確認してください。
- ②「学修計画書」に基づく個人面接
 - ・出願時に提出された「学修計画書」に関する質疑応答
 - ※試験時間は「プレゼンと質疑応答」と「個人面接」をあわせて20分程度です。

プレゼンテーマ

①テーマ(以下の2つの課題A・Bのいずれかを選択してください。)

- 課題A「地域テーマ」(a~eから一つ選択)
 a.「人口問題」 b.「観光振興」 c.「産業振興」 d.「環境問題」 e.「防災対応」
 ※日本の地域(市区町村単位)から一つ(例えばあなたが暮らす市区町村など)を選び、その地域についてa.~e.のいずれかの「テーマ」に基づいて調べ、あなた自身の経験や関わりを踏まえて考察し、その結果を取りまとめてください。

- 課題B「日本・国際社会テーマ」(a~dから一つ選択)
 a.「インバウンド」 b.「外国人労働」 c.「物価高騰」 d.「資源・環境」
 ※日本もしくは国際社会についてa.~d.のいずれかの「テーマ」に基づいて調べ、あなた自身の経験や関わりを踏まえて考察し、その結果を取りまとめてください。

- ②プレゼンでは、次の1)~4)の4点について、この順番で発表してください。
- 1) 選択した地域や国の簡単な紹介と特徴について
 - 2) 選択した「テーマ」に関するその地域や国の現状について
 - 3) 地域や国の現状から見えてくる課題について
 - 4) 課題を解決していくために必要だと思うことについて

評価基準

項目	配点	備考
プレゼンと質疑応答	70%	表現力、論理的思考力、主体的に学ぶ姿勢、経済・社会問題に対する姿勢、独自性など
「学修計画書」に基づく個人面接	30%	志望動機、学習意欲、積極性、計画性など

課題探究(レポート)型

選考方法

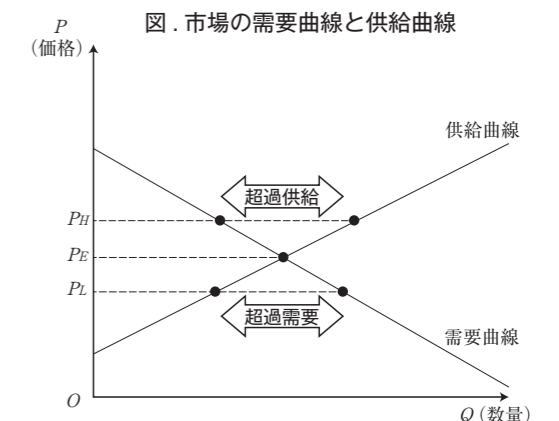
- ① 提出課題と口頭試問：出願時に課題レポートを提出してもらいます。試験当日、提出してもらった課題内容の理解度を確認するための口頭試問を行います。課題内容について自分の言葉で説明できるよう準備してきてください。特に自分の考えを述べる際には、その理由や根拠を明確に示してください。
- ② 「学修計画書」に基づく個人面接：試験当日、「学修計画書」に基づいて質疑応答を行います。
 ※試験時間は「口頭試問」と「個人面接」をあわせて20分程度です。

課題レポートテーマ

- 以下の2つの課題①②のいずれかを選択してください。
課題① 日本の人口問題について、以下の1)~2)に従って、1,000字程度で記述してください。
 1) 人口問題に関するキーワードa~eから、最も関心のあるものを一つ選んでください。
 a.「少子高齢化」 b.「女性の出産と労働」 c.「社会保障問題」 d.「外国人労働」 e.「地方の過疎化」
 2) 選択したキーワードに基づいて、日本の人口問題がどのような問題であるのかを、I)~IV)に沿って、説明してください。
 I) そのキーワードを選択した理由を説明してください。
 II) そのキーワードの意味や内容を説明してください。
 III) そのキーワードに基づいて、日本が抱える問題を説明してください。
 IV) III)で説明した問題の解決に向けて、あなたが考える取り組むべきことを説明してください。
 なお、I)~IV)の文章やそれらの番号をレポート中に書き写す必要はありません。

- 課題② あなたが見聞きした経済のニュースを参考に、価格の上昇した商品を1つ選び、その価格変化の理由について、以下の1)~5)に従って600字程度で記述してください。**
 なお、1)~5)の文章やそれらの番号をレポート中に書き写す必要はありません。

- 1) 価格の上昇した商品を1つ選んでください。
- 2) 図で表されている市場の需要曲線、供給曲線とは何を表しているかをそれぞれ説明してください。また、需要曲線が右下がり、供給曲線が右上がりとなる理由についても説明してください。
- 3) 市場は価格を均衡価格に導こうとするが、均衡価格において需要と供給はどのような関係になるかを説明してください。また、図において価格が P_H のとき超過需要が発生しているが、超過需要が発生している場合に価格はどのように変化するかを説明してください。
- 4) あなたが選んだ商品について、その商品の需要曲線、あるいは供給曲線(またはその両方)を動かすような要因があったかどうか、あったとすればそれ(それら)は具体的にどのような要因であったか、説明してください。
- 5) あなたが選んだ商品について、その商品の需要曲線、あるいは供給曲線(またはその両方)がどのように動くのかと、それによってなぜ価格が上昇するのかについて説明してください。



評価基準

項目	配点	備考
提出課題と口頭試問	70%	論理的思考力、主体的に学ぶ姿勢、表現力など
「学修計画書」に基づく個人面接	30%	志望動機、学習意欲、積極性、計画性など

総合型選抜入試の目的と特徴

経営学部の総合型選抜入試は、経営学部の求める人物像に合致し、自分自身の持つ長所を的確に伝え、かつそれを伸ばさせるために入学後にどのような活動を行うかを的確に伝えることができるかをプレゼンまたは、課題レポートおよび個人面接により評価し、選抜します。また、選考方法による課題テーマの違いはなく、共通のテーマとなります。各選考方法の違いによる評価の観点には次の通りです。課題探究(プレゼン)型では「自身の考えを他者へ伝える表現力を重視」し、課題探究(レポート)型では「自身の考えを他者へ伝える文章力を重視」します。自身の力を最大限発揮できる選考方法を選択してください。

教育目的

経営学部は、幅広い教養と経営学に関する専門知識を身につけ、事業運営能力・情報分析力・コミュニケーション能力・チャレンジ精神・社会適応力を身につけた人材の育成を教育目的としています。また、6つの幅広い専門的な分野を掛け合わせ、会社経営やビジネスに必要な知識を身につけます。

- 1. 経営・会計 現代ビジネスにおける会社の経営戦略やお金の流れなどの理論を学びます。
- 2. マーケティング “商品が売れる”仕組みを学び、その理論と知識で社会課題を解決する方法を考えます。
- 3. ICTビジネス インターネットやSNSを用い、人と社会をスマートにつなげるビジネス戦略を学びます。
- 4. 国際ビジネス 世界を舞台にしたビジネスの事例を知り、国境を越えた企業経営を学びます。
- 5. ブランド・ファッション アパレルやインテリアブランドの“売れる仕組み”をつくりだす理論や知識を学びます。
- 6. スポーツマネジメント スポーツを通じてビジネスを学ぶとともに、スポーツへのビジネス活用法を考えます。

求める人物像

経営学部は、建学の精神およびミッション・ステートメントに則り、阪南大学アドミッション・ポリシーを前提として、次に掲げる人物の入学を希望します。

1 [知識] [技能]	高等学校で履修した主要教科・科目について、教科書レベルの基礎的な知識を有している人
2 [思考力] [判断力] [表現力]	阪南大学アドミッション・ポリシー記載のものに加えて、明確な根拠に基づいて筋道立てて考え、それを文章やプレゼンなどで他者にわかり易く伝える能力がある人
3 [関心] [意欲]	<p style="text-align: center;">3-1 [各分野への関心]</p> <p>以下の分野における様々な問題に関心を持っており、理論を学び、フィールドリサーチやアンケート調査等を通じて新たな知見を見出したいと考えている人</p> <p>【経営学部の分野】</p> <p>■経営・会計 ■マーケティング ■ICTビジネス ■国際ビジネス ■ブランド・ファッション ■スポーツマネジメント</p>
	<p style="text-align: center;">3-2 [将来への意欲]</p> <p>本学で身につけた知識と経験を活かして、将来、上記の分野で活躍しようと考えている人</p>

選考方法および課題、選考における評価基準

課題探究(プレゼン)型

選考方法

- ①学修計画書：出願時に提出する事前提出課題です。
- ②プレゼン：学部で指定されたテーマについて、試験当日に8分程度のプレゼンを実施します。プレゼンの方法は試験室内で実施可能な範囲であれば自由です。個人の機器を持ち込む場合は、試験当日に別室にて接続テストを行うため、試験中に監督者による機器接続等の補助は原則としてできません。そのため、機器の不具合等に備え、プレゼン資料を印刷したものを必ず3部持参してください。機器の不具合等により、機器の利用から紙資料によるプレゼンへ方法が変更された場合でも、評価に影響が出ることはありません。なお、機器を利用されない方で配付資料がある場合は、資料を3部持参してください。
- ③学習・調査記録：学修計画書とプレゼン資料の作成過程と、作成する際に読んだり、調べたり、取り組んだりした書籍や新聞記事、インタビューやアンケート調査、イベント等を、取り組んだ日ごとに記録して、そこから得られた知見等も合わせて「学習・調査記録」としてまとめて試験当日に面接担当者へ提出してください(原本をコピーして計2部持参)。この「学習・調査記録」も採点対象になります。記入用紙は願書に同封しています。足りなくなった場合はコピーをするか、阪南大学入試サイトの「総合型選抜入試 Web サイト」からダウンロードし、印刷してください。
- ④個人面接：試験当日、「学修計画書」および「プレゼン」、「学習・調査記録」をもとに質疑応答を行います。
※試験時間は「プレゼン」と「個人面接」をあわせて20分程度です。

プレゼンテーマ 下記の課題テーマを参照 評価基準 下記の評価基準を参照

課題探究(レポート)型

選考方法

- ①学修計画書：出願時に提出する事前提出課題です。
- ②課題レポート：出願時に提出する事前提出課題です。学部で指定されたテーマについて、800字～1,000字程度で課題レポートを作成してください。
- ③学習・調査記録：課題レポートの執筆過程と、執筆する時に読んだり、調べたり、取り組んだりした書籍や新聞記事、インタビューやアンケート調査、イベント等を、取り組んだ日ごとに記録して、そこから得られた知見等も合わせて「学習・調査記録」としてまとめてください。また、レポートを完成させて提出(出願)した後に読んだ文献や取り組んだイベント等も「学習・調査記録」に継続して記録し、試験当日に面接担当者へ提出してください(原本をコピーして計2部持参)。この「学習・調査記録」も採点対象になります。記入用紙は願書に同封しています。足りなくなった場合はコピーをするか、阪南大学入試サイトの「総合型選抜入試 Web サイト」からダウンロードし、印刷してください。
- ④個人面接：試験当日、「学修計画書」および「課題レポート」、「学習・調査記録」をもとに質疑応答を行います。
※試験時間は15分程度です。

課題レポートテーマ 下記の課題テーマを参照 評価基準 下記の評価基準を参照

課題テーマ (課題探究(プレゼン)型・課題探究(レポート)型共通)

以下の6問の中から1つを選択してください。

※プレゼン型を選択した方は、課題レポート用紙(原稿)を出願書類送付時に提出する必要はありません。

- ①インターネット通販が普及することで、スマートフォンで気軽に買い物ができるようになりました。こうしたデジタルを通じた消費が広まる中で、店舗などのリアルな施設は変化を求められています。デジタルとリアルの強み・弱みを挙げて、リアルの施設はどのような対策をすべきか提案してください。
- ②ICTとはInformation and Communication Technologyの略で、「情報通信技術」を意味します。近年は情報処理や通信技術そのものだけでなく、5GやWi-Fiに代表されるネットワーク環境を活用した情報(SNS)・知識・製作物(ゲームアプリ)を共有し、それらを活用したビジネスが増え私たちの生活に定着しています。ICTが社会生活や産業の発展、企業が成長することに必要なのはなぜか、理由を説明してください。
- ③世界的に活躍している日本企業の現状と今後の課題について、あなたが興味ある日本企業1社の事例を取り上げて説明してください。
- ④あなたが特に関心を寄せるブランドを1つ挙げ、そのブランドは他のブランドと比べてどのような点で優れていると言えることができるか説明してください。その際、必ず「歴史」と「社会」という言葉を使うようにしてください。
- ⑤あなたが特に関心を寄せるファッションの事例(人物でも可)を1つ挙げ、その概要・歴史・魅力を説明してください。その際、必ず「消費」と「価値」という言葉を使うようにしてください。
- ⑥あなたが関係する都道府県内にあるスポーツ組織(※)を1つ取り上げ、その組織の現状の課題を分析して、その解決策を考察してください。なお、課題と解決策が複数になっても構いません。
(※)スポーツ組織とは、各競技の統括団体やプロスポーツのチーム・リーグといった大規模な組織から、大学の運動クラブや地域の少年野球クラブといった比較的小さな組織までを意味します。

評価基準

項目	配点	備考
事前提出書類(学修計画書・調査書)	20%	志望動機、学修意欲、高等学校等での努力や姿勢など
■課題探究(プレゼン)型 プレゼン+個人面接+学習・調査記録 ■課題探究(レポート)型 課題レポート+個人面接+学習・調査記録	80%	アドミッション・ポリシー理解度・意欲、計画性、論理性、表現力など アドミッション・ポリシー理解度・意欲、論理性、表現力、完成度など

総合型選抜入試の目的と特徴

総合情報学部の総合型選抜入試は、本学部が求める人物像に合致した方が志願することのできる専願制入試です。高等学校の学業成績だけでなく、試験当日の課題に対する評価、面接を通してアドミッション・ポリシーの理解度や受験生個人の適性、入学後の意欲、学修への計画、姿勢、将来性などを総合的に評価します。また、選考方法による課題テーマの違いはなく、共通のテーマとなります。各選考方法の違いによる評価の観点は次の通りです。課題探究(プレゼン)型では「自身の考えを他者へ伝える表現力を重視」し、課題探究(レポート)型では「自身の考えを他者へ伝える文章力を重視」します。自身の力を最大限発揮できる選考方法を選択してください。

教育目的と求める人物像

■教育目的

総合情報学部の教育目的は、情報技術によって人々が暮らしやすい社会を構築できる人材を輩出することです。そのため、個人の興味・関心に応じて、「AI・データサイエンス」「ビジネスデータサイエンス」「情報システム」「デジタルコンテンツ」「スポーツデータサイエンス」の5分野それぞれの専門知識を学びます。これら5つの分野は情報というキーワードで相互に連携しています。2年次生以降は専門ゼミに所属し、担当教員による個別指導を受けながら、卒業論文や卒業制作を通して、情報化時代のビジネスパーソンとしての基礎的能力の獲得をめざします。

■求める人物像

1	[知識] [技能]	英語・国語・数学および理科または社会分野に関する基礎的な内容を身につけている人
2	[思考力] [判断力]	阪南大学アドミッション・ポリシー記載の内容に加えて、関連する情報を収集し、それらを総合した明確な根拠に基づいて思考し、筋道立てて判断できる能力がある人
3	[関心] [意欲]	ビジネスやスポーツを含むあらゆる分野で情報化が進化する社会に関心を持ち、その仕組みや機能とそれらの社会への応用についての学修意欲がある人。また、学部教育で修得する数理・データサイエンス・情報技術・ビジネス・スポーツに関する知識を元に、情報の利活用によって豊かで生産的な社会の実現に貢献したいと考えている人。上記の内容を含め、以下のいずれかにあてはまる人
		3-1 AI・データサイエンスの知識や技術を身につけることで、国内外の企業において活躍しようとする人
		3-2 情報システム技術を身につけることで、国内外の企業において活躍しようとする人
		3-3 情報技術を利用したデジタルコンテンツ制作に関心のある人
		3-4 企業や店舗の経営をめざし、経営にAI・データサイエンスや情報システム技術を利用することに関心がある人
		3-5 数学等で学んだ思考力に基づいて、ビジネスやスポーツを客観的に分析することに関心のある人
		3-6 保健体育または芸術科目の基礎力を有し、幅広い年齢層を対象としたスポーツ・運動の理論と技能を学ぶ意欲のある人や、人間の心身の可能性を探究する意欲のある人
		3-7 AI・データサイエンスや情報技術、あるいはスポーツ・健康の分野で、国際社会や地域社会への貢献に関心がある人

選考方法および課題、選考における評価基準

課題探究(プレゼン)型

選考方法

- ①学修計画書: 出願時に提出する事前提出書類です。
- ②プレゼン: 学部で指定された下記テーマについて、試験当日に8分~12分程度のプレゼンを実施します。プレゼンの方法は試験室内で実施可能な範囲であれば自由です。個人の機器を持ち込む場合は、試験当日に別室にて接続テストを行うため、試験中に監督者による機器接続等の補助は原則としてできません。そのため、機器の不具合等に備え、プレゼン資料を印刷したものを必ず3部持参してください。機器の不具合等により、機器の利用から紙資料によるプレゼンへ方法が変更された場合でも、評価に影響が出ることはありません。なお、機器を利用されない方で配付資料がある場合は、資料を3部持参してください。
- ③個人面接: 試験当日、「学修計画書」および「プレゼン」をもとに質疑応答を行います。
※試験時間は「プレゼン」と「個人面接」をあわせて20分程度です。

課題探究(レポート)型

選考方法

- ①学修計画書: 出願時に提出する事前提出書類です。
- ②課題レポート: 出願時に提出する事前提出書類です。学部で指定された下記テーマについて、800字~1,200字の課題レポートを作成してください。
- ③個人面接: 試験当日、「学修計画書」および「課題レポート」をもとに質疑応答を行うため、課題レポートの概要に関する要約資料(フリップやポスター等)を持参しても構いません。面接当日に説明できるように準備をしてください。
※試験時間は15分程度です。

課題テーマ (課題探究(プレゼン)型・課題探究(レポート)型共通)

以下の6つの課題テーマから1つを選択してください。

※プレゼン型を選択した方は、課題レポート用紙(原稿)を出願書類送付時に提出する必要はありません。

- ①生成AIの使用による著作権の問題や、フェイクコンテンツ生成の危険性について、自分の意見と具体的な事例を交えて説明してください。
- ②家・自動車を買う、自分で事業を立ち上げるなど、人生の各ステージでまとまったお金が必要になることがあります。しかし、日本人の資産運用は、預貯金など安全な資産に大きく依存しています。もちろん、そのような運用は元本を減らす危険性は少ないのですが、飛躍的に資産を増やすことも望めません。そこで、これからのお金の運用はどのように手掛けるべきかをテーマに、各種資料を調査した上で自身の意見を説明してください。
- ③YouTuberやSNSのインフルエンサーは、デジタルコンテンツを作成・発信するビジネスを企画・運営しています。あなたが情報(デジタルコンテンツ)発信に関するビジネスに従事する場合、どのような工夫をしますか。失敗事例と成功事例を調べて説明してください。
- ④近年、スポーツの現場ではデータや情報といったツールを活用してパフォーマンスを高めようとする取り組みが盛んに行われています。あなたが競技スポーツやダンス作品の創作をする上で映像や音楽、身体データなどの情報にどのように向き合い、それを活用したいかを説明してください。
- ⑤近年、様々な分野での情報コミュニケーション技術の活用が期待されており、科学、技術、工学、数学の英語の頭文字からなるSTEM(S: Science T: Technology E: Engineering M: Mathematics)というキーワードが欧米で注目を浴びています。ICTやAIに関する技術の中で、あなたはこれまでにどのような技術に関心を持ち、今後どのような活動をしていきたいかを説明してください。
- ⑥ブロックチェーン技術やIoT、ARやVRなどのIT技術の発展により、さまざまな新しいサービスやソリューションが生まれています。このような最新技術を用いた新しいサービスのアイデアを提案してください。

※総合情報学部には「AI・データサイエンス」「ビジネスデータサイエンス」「情報システム」「デジタルコンテンツ」「スポーツデータサイエンス」の5つの分野があります。各課題の準備については阪南大学入試サイトにある学部紹介ページを参考にしてください。

評価基準

項目	配点	備考
事前提出書類(学修計画書・調査書)	40%	志望動機、学修意欲、高等学校等での努力や姿勢など
個人面接	40%	アドミッション・ポリシー理解度、意欲、計画性、論理性、表現力など
課題探究(プレゼン)型 プレゼン	20%	表現力、論理性、創造性、完成度など
課題探究(レポート)型 課題レポート		文章力、論理性、創造性、完成度など